

すすきもたらす恵み

— すすきみみずく×南池袋小学校



11月5日、

「ススキの茎は意外と折れやすいよ」

と、植替えをしながら戸惑う子供たちに、

「ススキは折れても枯れません」

「ススキの根元に赤ちゃんの芽があったでしょう。ススキはタネが風によってもひろがってゆく植物なんですよ」

と、授業の講師、岩間美代子先生（NPO法人ネイチャーセンターリセン）はアドバイスを送ります。

区立南池袋小学校6年生の環境教育授業の様子です。全員で力を合わせて、ススキの植替えや南池袋小学校で発見した植物や昆虫の紹介文をつくりました。

普段、何気なく目にしているものでも、実際に触れてみるとたくさん発見がありますね。

岩間先生は「南池袋小学校周辺は、かつては一面のススキが原でした。江戸時代からの自然が残る、武蔵野の息吹を感じられる場所なんです。自分たちがどういうところで生きてきたかを知ること、その土地に対する愛着も湧くのではないのでしょうか」と話し、子供たちの活動の様子を見守っていました。

11月19日には、法明寺みみずく会館にて「すすきみみずく製作講習会」が開催され、4年生が地域に伝わる郷土玩具を製作しました。

すすきみみずくは、雑司ヶ谷鬼子母神に江戸時代から伝わる郷土玩具です。

法明寺の近江正典住職からは「みなさんと同じくらいの年齢の女の子が、お母さんの病を治したいという一心ですすきみみずくを作りました。みんなで一羽ずつ完成させましょう」と話がありました。

すすきみみずく保存会では、製作技術を伝承していくための講習会を開催しています。

製作講習会は、3月9日(日)にも一般の方を対象に開催されます。

講習会に関する問い合わせは…

雑司が谷案内処 TEL03-6912-5026

1. 講習会で4年生がつくったすすきみみずくたち
2. まずは玄関脇のツツジやアジサイを移動
3. 校舎脇のススキを植替えます
4. ススキの樹名札
5. 植替え完了！
6. 12月、枯れたススキの根元には新芽が生えています
7. すすきみみずく講習会の様子

私たちの生活は、地域の生物の多様性とつながっています。
まずは、生きものに関心を持ち、身近な自然について考えてみませんか。